

※サンプルを参照して以下に記入いただき、完成後にメールの添付ファイルで学科等の FD 委員に送信してください。

報告者氏名 庭野 賀津子（教育学部教育学科・大学院教育学研究科）

FD 名称 ディスレクシア—読み書き困難—への気づきと支援

主 催 東北大学高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター

開催日時 2017年1月17日

開催場所 東北大学 川内北キャンパス教育・学生総合支援センター

講 師 川崎聡大（東北大学大学院 教育学研究科 准教授）

FD 内容

- ・ディスレクシア（読み書き困難）の定義
- ・ディスレクシアの特性
- ・ディスレクシアの困難さの疑似体験
- ・ディスレクシアの診断のための評価
- ・ディスレクシアへの支援

**報告書コメント
（感想含む）** 本セミナーは、ディスレクシア（読み書き困難：学習障害の一種）について理解し、さらに、発達障害のある学生への有効な対応法について、疑似体験をしながら考えるという内容であった。

マスコミ等でも報道されているとおり、昨今、各大学では、発達障害を有する学生への対応に苦慮している。本学も例外ではないため、この機会に発達障害学生への対応に関する新しい知見を学び、本学の他の教員とともにこのセミナーの情報を共有して、皆で学生支援へ取り組みたいという思いで参加した。

大学では、さまざまな授業形態があるため、その形態によって、学生の困難さが異なる。講義形式では、90分間という長い間、座っていることが苦痛な学生や、講師の話を聞きながら同時にノートを取ることが苦手な学生がいる。また、演習や実習では、他者と協調をしながら主体的にアクティブラーニングに取り組まなければならない、他者とのかかわりが苦手な学生にはストレスになることが多い。そのような学生の特性を理解しながら、場に応じたきめ細やかな支援を行っていきたい。

報告日：平成29年1月30日